

ウインチ繊維ロープの点検について

ウインチ繊維ロープが損傷した状態で使用を続けた場合、ロープが切断し吊り荷が落下するなどの重大事故を起こすおそれがあります。

ウインチを使用する前に必ずウインチ繊維ロープの点検を行ってください。

＜対象製品＞

電気工事用高所作業車(AT-146TE・AT-147CE 等)

＜点検整備時期＞

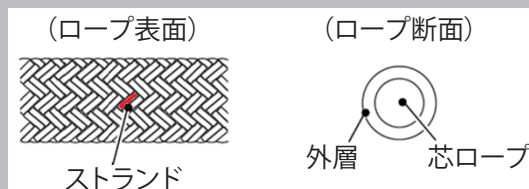
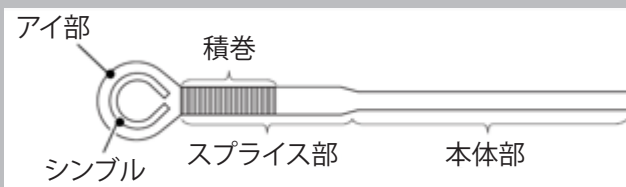
項目	点検・整備間隔	備考
ロープの点検	作業開始前	ウインチロープ本体部、シンブル、アイ部、玉掛けロープの外れ止め、シャックルに異常がないか点検する。 点検の結果、異常が発見された場合は直ちに交換してください。
	月例・年次	
ロープの交換	1年または1200時間	繊維ロープは紫外線・水分(雨)で寿命が低下するため、異常がなくても必ず1年毎に交換してください。

＜ロープの点検＞

■目視にてロープの外観点検を行う。 ※以下に該当するものはロープを交換してください。

共通(繊維ロープ全体)

- ・網目が分からないほど摩耗し毛羽立っているもの
- ・部分的に著しく摩耗しているもの
- ・ストランドが1本でも切れているもの
- ・熱や薬品等により著しく変色、着色、溶融、溶解が認められるもの



アイ部

- ・シンブルが脱落したもの

スプライス部

- ・積巻がゆるんでいるもの
- ・積巻が切れているもの
- ・スプライスに抜けが生じているもの

本体部

- ・芯ロープが露出しているもの
- ・コブ状の太りがあるもの
- ・部分的に細りがあるもの

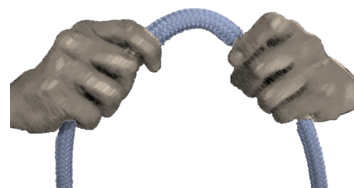
■触診にて芯ロープの異常の有無、乾燥状態を点検する。

- ・ロープ全長にわたり芯ロープの感触を確認する。

※異常(柔らかい箇所、折れ曲がった箇所)が確認された場合は
ロープを交換してください。

- ・ロープが乾燥状態であることを確認する。

※水分を含んだロープは乾燥後、使用してください。



メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ

